

# 自動採点技術に基づく効果的な和文英訳学習

松林優一郎

東北大学教育学研究科 准教授 理研AIP 自然言語理解チーム客員研究員







### 和文英訳問題の添削を自動化する

自動採点



#### 従来の教育現場での採点

1)次の日本語の下線部を英語に訳しなさい。ただし、解答欄に与えられた語句で文を始めること。 (10 点) 私が最初に英語を教わった先生はアイルランド人でした。<u>彼女は日本で30年暮らしていて、日本等が</u>のラベラでした。

She spoke Japanese fluently since she had lived in Japan for thirty years.

She spoke Japanese very fluently because she has lived there for 30 years.

採点コストが高く、個別には コメントを返せない

> 生徒には点の根拠が 解釈しにくい採点結果

採点根拠の明示化と 追加学習項目のアドバイス

△ since は既知の事実に基づく説明に使います

She spoke Japanese fluently since she had lived in Japan for thirty years.

She spoke Japanese very fluently because she has lived there for 30 years.

★ 時制をそろえましょう

★ 場所を正しく記述しましょう

- 採点コストの削減
- 答案に応じた個別アドバイス の提示

### ライティング能力 学習支援技術の位置づけ



国語記述式答案採点

(舟山)

#### 和文英訳添削

(松林)

#### 出題意図

- 理由を述べる構文が理解できているか
- fluent という語を知っているか
- 時制を正しく書けるか

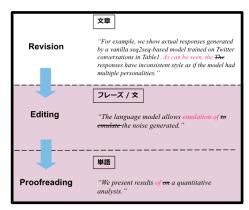
She spoke Japanese very fluently because she has lived there for 30 years.

X 時制をそろえましょう

- 学習段階に応じて 問う能力があらかじめ 想定されている
- 答案がある程度絞られる
- Closed domain

#### ライティング 学習支援

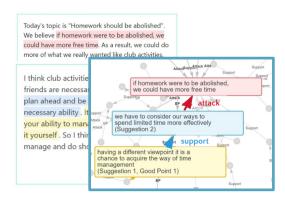
(三田・永田)



- 自由作文
- 総合的な英文記述支援
- Open domain

#### 論述構造診断

(内藤)



- 文の正しさではなく、 内容構成の評価
- フィードバック コメント
- 論理的思考力/記述力

### Demo



#### フィードバック付き英作文自動採点デモ

■

次の日本語の下線部を英語に訳しなさい。ただし、解答に与えられた語句で文を始めること。

私が最初に英語を教わった先生はアイルランド人でした。彼女は日本で30年暮らしていて、日本語がペラペラでした。

解答入力欄:

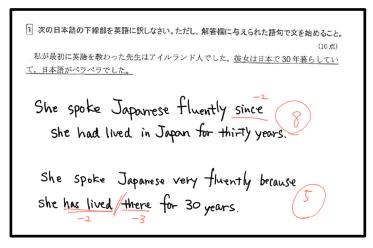
She spoke



### 自動化による恩恵



#### 答案提出→採点結果





- フィードバックはすぐには 返ってこない
- 実施と振り返り学習の間に 時間的空白が生まれる
- → 学びの意欲・好奇心の抑制

#### インタラクティブな 自動添削+個別アドバイス



- 採点コストなしで詳細な アドバイスを付与
- 即時の反復学習

# 短文和文英訳問題のねらいと技術適用のあり方



- ・ 短文和文英訳問題の特徴
  - 各学習段階における特定の語学知識の確認
  - 知識定着のための反復演習問題
- ・ 技術支援の方向性
  - 作題者の意図を反映した適切なアドバイス
    - 振り返りによる対象知識の確実な定着を図る
  - 学習者が自分自身でトライアンドエラーの 反復を行える環境
    - 自ら学びを深める仕組み
    - 実施と評価の間のゼロ時差化(好奇心の維持)

### コンセプト実証と 技術開発の方向性の検討



あらゆるタイプの問題を対象とした技術 を最初から作ることは難しい

数十問の問題集から始めて、教育効果の 検証と、技術の洗練の方向を検討する

- 教育者・教育研究者・ユーザーと協調した 検証型の技術開発 ▲



作題意図と 想定する採点基準

- 理由を述べる構文が理解できているか
- fluent という語を知っているか
- 時制を正しく書けるか

問題

彼女は日本で30年暮らしていて、 日本語がペラペラでした。

She spoke

ルーブリック 評価したい能力別の 個別の採点基準

- (	)
	/

 $\wedge$ 



- 60					
	C構文・文法・語順	C1 理由の接続詞:because[for/as]SV	because[for/as]	-	それ以外
1		C2 時制:従属節内の時制が過去完了もしくは過去形	had lived/lived	-	has lived/lives/それ以
1		C3 語順:SV 場所・時間の順になっている		-	
	D表現・語句	D1 表現:「日本語がペラペラ」	· ·	, ,,,,	smooth/easy/clealyそ言語/無回答
1		D2 表現:「日本で」	in Japan (country)	-	それ以外
		D3 表現:「30年」	for thirty[30] years	for about thirty[30] years	前置詞抜け/during/そ
		D4 語句:「暮らす」	liveを使う	-	stay/be

#### 採点項目ごとの アドバイス内容

- 理由の従属接続詞を使おう
- 「流暢な日本語」を適切に表現しよう
- 主文の時制と一致させよう。発言の時点でどれだけ 時間が経過しているかを考えよう。
- 国などの場所に使う前置詞+場所は書けるようにしよう
- 複数形yearsに合う前置詞を選びましょう



#### 作題意図と 想定する採点基準

- 理由を述べる構文が理解できているか
- fluent という語を知っているか
- 時制を正しく書けるか

彼女は日本で30年暮らしていて、 日本語がペラペラでした。 She spoke

- 1 1 Japanese fluently because she lived in Japan for thirty years. MOS
- 2 2 Japanese fluently as she had live Japan fo 30 years. MOS
- 3 Japanese very well because she had lived in upan for 30 years. MOS
- 4 4 Japan
- 5 Japane
- 6 6 Englis 7 7 Japane
- 8 9 Japan

- 10 11 Japanese fluently because she had been living in Japan for thirty years. N

(~200答案)

iOS

years, MOS

- 11 12 Japanese fluently because she lived in Japan for thirty years. MOS
- 12 13 fluently because she lived in Japan for thirty years. MOS
- 13 14 Japanese fluently because she had stayed in Japan for thirty years. MOS
- 14 15 Japanese very fluently because she had lived in Japan for thirty years. M
- 15 16 Japanese frequently because she has lived in Japan for thirty years. MOS
- 16 17 Japanese fluently because she had lived in Japan for 30 years. MOS

#### ルーブリック 評価したい能力別の 個別の採点基準





	C構文・文法・語順	C1 理由の接続詞:because[for/as]SV	because[for/as]	-	それ以外
ı		C2 時制:従属節内の時制が過去完了もしくは過去形	had lived/lived	-	has lived/lives/それり
-		C3 語順:SV 場所・時間の順になっている		-	
	D表現・語句	D1 表現:「日本語がペラペラ」	fluent Japanese /Japanese fluently	(very)good Japanese /Japanese (very) well	smooth/easy/clealyそ言語/無回答
		D2 表現:「日本で」	in Japan (country)	-	それ以外
		D3 表現:「30年」	for thirty[30] years	for about thirty[30] years	前置詞抜け/during/そ
		D4 語句:「暮らす」	liveを使う	-	stay/be

#### 採点項目ごとの アドバイス内容

- 理由の従属接続詞を使おう
- 「流暢な日本語」を適切に表現しよう
- 主文の時制と一致させよう。発言の時点でどれだけ 時間が経過しているかを考えよう。
- 国などの場所に使う前置詞+場所は書けるようにしよう
- 複数形yearsに合う前置詞を選びましょう



#### 作題意図と 想定する採点基準

- 理由を述べる構文が理解できているか
- fluent という語を知っているか
- 時制を正しく書けるか

#### 問題

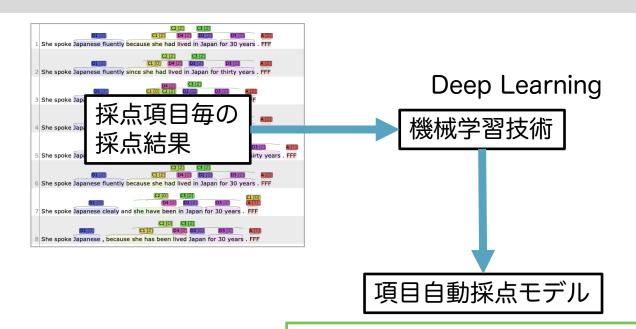
彼女は日本で30年暮らしていて、 日本語がペラペラでした。 She spoke \_\_\_\_\_

1	1 Japanese fluently because she liv   in Japan fr thirty years.	. MOS
2	2 Japanese fluently as she had live Japan fo 30 years. MOS	5
3	3 Japanese very well because she had lived in upan for 30 year	rs. MOS
4	4 Japane	ars. M′ د
5	5 Japane 答案	ars iOS
6		406
7	<sup>7 Japane</sup> (~200答案)	MOS
8	9 Japane (~ Z U U 合衆)	years. MOS
9	10 Japan	s. MOS
10	11 Japanese fluently because she had been living in Japan for t	hirty years. N
11	12 Japanese fluently because she lived in Japan for thirty years	s. MOS
12	13 fluently because she lived in Japan for thirty years. MOS	
13	14 Japanese fluently because she had stayed in Japan for thirty	years. MOS
14	15 Japanese very fluently because she had lived in Japan for th	irty years. M
	16 Japanese frequently because she has lived in Japan for thirt	
16	17 Japanese fluently because she had lived in Japan for 30 yea	rs. MOS

#### ルーブリック 評価したい能力別の 個別の採点基準

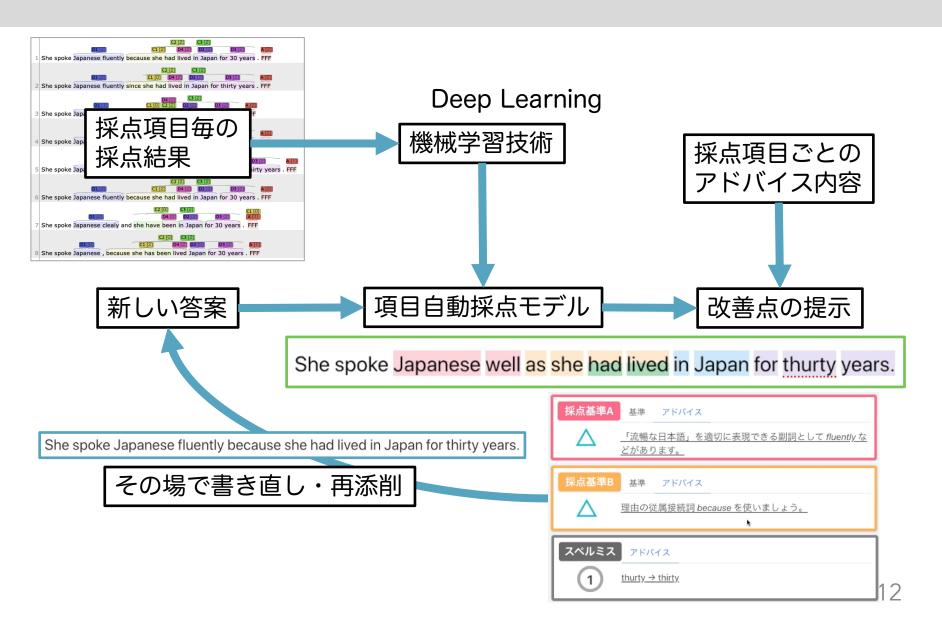




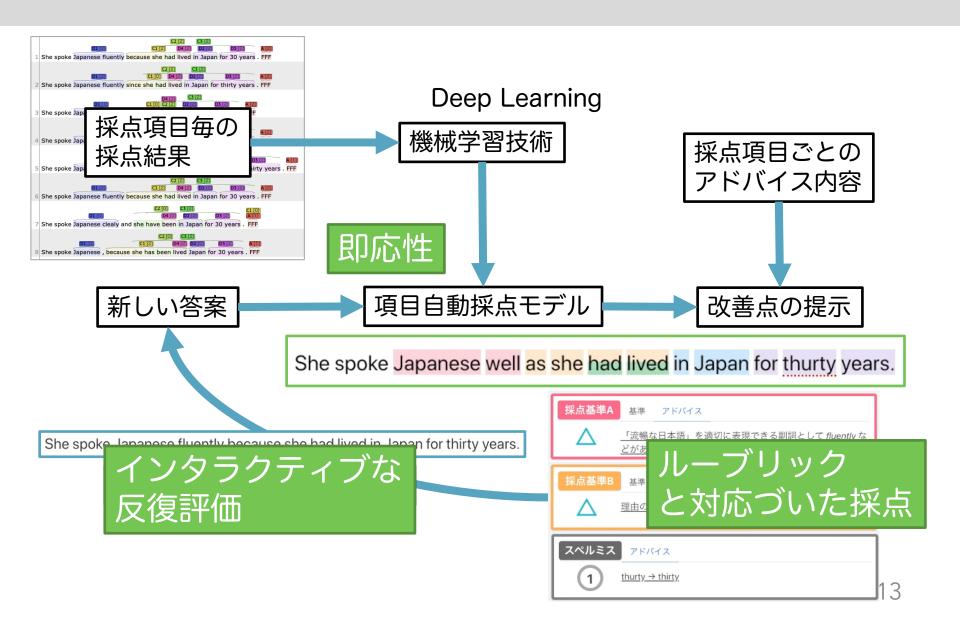


She spoke Japanese well as she had lived in Japan for thurty years.









### 様々な付加価値の付け方



- ・知識集との連動
  - 答案を学習者が<u>自ら学べる情報源と瞬時に</u> 結びつけ、即応的な学習を可能にする

語彙 文法 連語 She spoke Japanese <u>frequently</u> <u>since</u> she <u>lived in</u> Japan for ··· 文法書・参考書 辞書・類語辞典 用例集・ コロケーション情報 frequently, adv as, because, since  $\mathcal{O}$ 頻繁に 違いと使い分け lived in fluently, adv lived on ①流暢に lived at lived to

### 様々な付加価値の付け方



- インタラクティブなシステムならではの フィードバックコメントの返し方
  - 反復試行を前提とすれば間違いの全てを一度に 指摘する必要もない

She spoke in Japanese because she has lived in Japan for 30 years.



必要な内容語の不足|ペラペラ(流暢)を表現してみよう

She spoke fluent Japanese because she has lived in Japan for 30 years.



時制の不一致

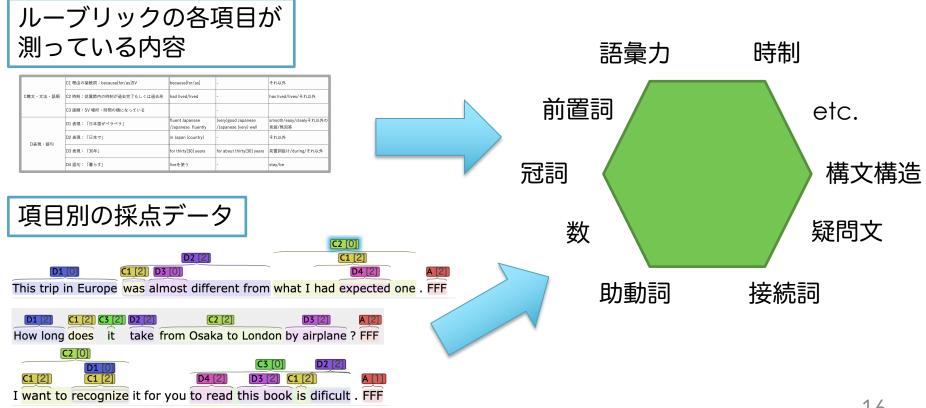
主文の時制と一致させてみよう

- 少しずつヒントを与えるような事を言ってみる
- 完全な答えを教えないが、スムーズに答えを導くようなガイダンス

### 様々な付加価値の付け方



ルーブリックに連動した ラーニングアナリティクス



## 社会実装と教育効果の検証





- 大学教育等クラスルームレベルでの実地 トライアル・共同研究による実証実験
- ・ 教育効果の検証
  - 目新しさ → 技術競合へ
  - 受益者への品質保証、サービスの健全性確保
- 技術開発サイクルのスピードと効果検証 スピードのズレを解消する必要性
  - 対モノの検証 vs 対ヒトの検証
  - 技術開発と検証プロトコルをセットで仕組み化

### 数十問 → 数百~千問へ



- ・データ収集の問題
  - スキル別の問題・被験者・多様な答案の収集

・ルーブリック作成コストの問題

言語処理技術を駆使して補助

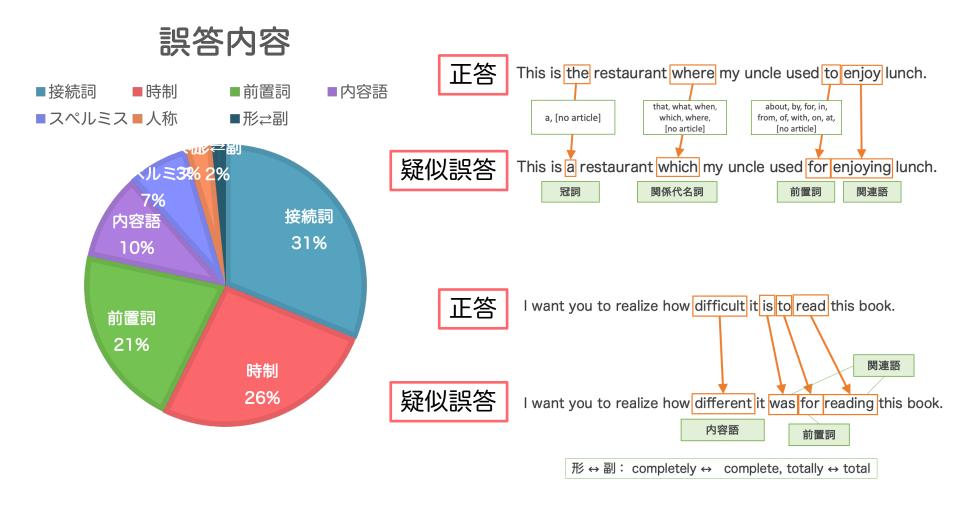
### データ収集の問題



- 産学協働
  - 研究開発のためのデータ提供/共同研究を 歓迎します
  - 教育・NLPコンソーシアム
- クラウドソーシング
  - Webを通して多数の被験者からデータ収集
- 擬似的な答案データをAIによって生成
  - 言語処理業界で近年非常に成功している方法論
  - 大量のバリエーションを作り出して学習に用いる

### 実際の誤答の統計値に基づき 疑似答案を機械生成





## ルーブリック作成コストの低減





• 言語処理の要素技術とのドッキング

作題者の意図

#### 問題別に作り込む部分

- ・理由の構文が理解できているか
- fluent という語を知っているか
- 時制を正しく書けるか
- 場所の前置詞を正しく書けるか

多様なエラ・

実際

 $\mathcal{O}$ 

答案

問題横断的な汎用的技能

全問題で利用可能な部分

#### 文法誤り訂正技術

- 数の一致
- コロケーション
- 冠詞の欠如
- 品詞のズレ
- スペルミス

意味解析・言い換え技術

同義語/言い換えの許容

• 作題者は本質的に問いたい部分の ルーブリック・添削コメント作成だけに集中

### おわりに



- 和文英訳における細項目採点技術の応用
  - 現場の添削コスト削減
  - 新しい学習スタイルの創出
    - 即時性のある反復・振り返り・追加学習
    - 自己分析手段の提供

• 適用可能な言語処理技術は多い

開発と検証のためのデータ資源と プラットフォームづくりが重要